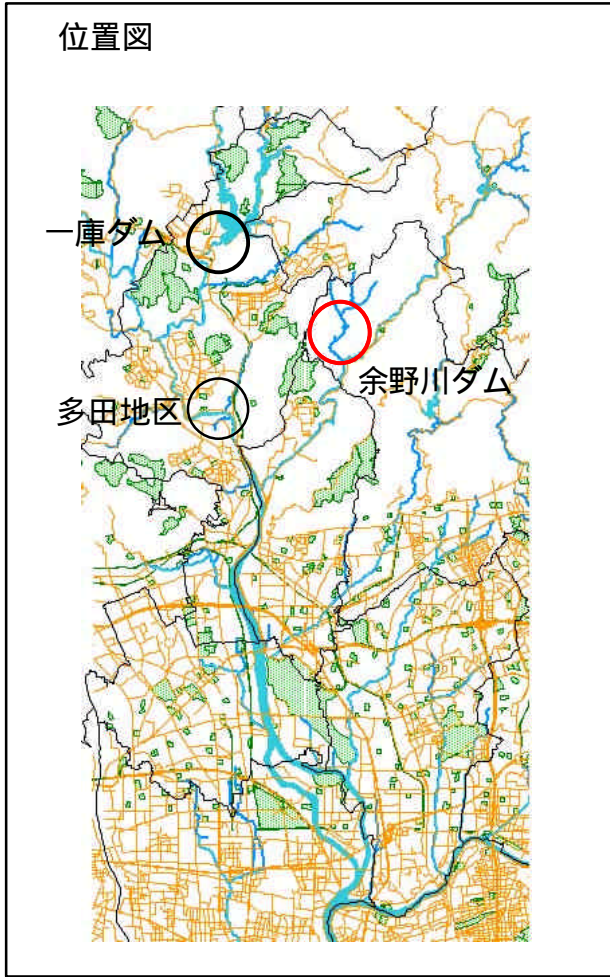


説明資料(第2稿)での記載箇所	章項目	5.7.2	ページ	p.71	行	32行目
事業名	余野川ダム(猪名川総合開発事業)		河川名	余野川ダム		
府県	大阪府	市町村	箕面市	地先	止々呂美	

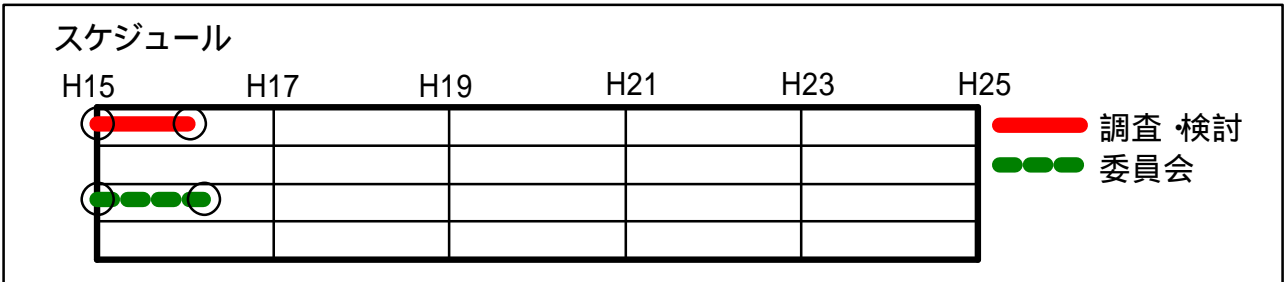
検討を必要とする理由
 狭窄部上流域において、近年も浸水被害が度々発生している。
 近年の小雨化傾向により、湯水が頻発している。

調査検討の方針
 ・猪名川における浸水被害の軽減を図る。
 ・必要に応じて他ダムとの容量再編を検討する。

具体的な調査検討内容
 ・猪名川における狭窄部上流域の浸水被害の軽減を図るためにあらゆる対策案について事業費、事業工程、周辺自然環境、社会環境に及ぼす影響の検討を行う



- 現時点で検討対象として考えられる対策案
- ・貯留施設の活用(調節池)
 - ・田畑の貯留機能
 - ・一庫ダムの放流操作の変更
 - ・一庫ダムの堆砂容量の有効活用
 - ・一庫ダムの利水容量の振り替え
 - ・分水路の設置
 - ・新たな遊水地の設置
 - ・狭窄部の開削

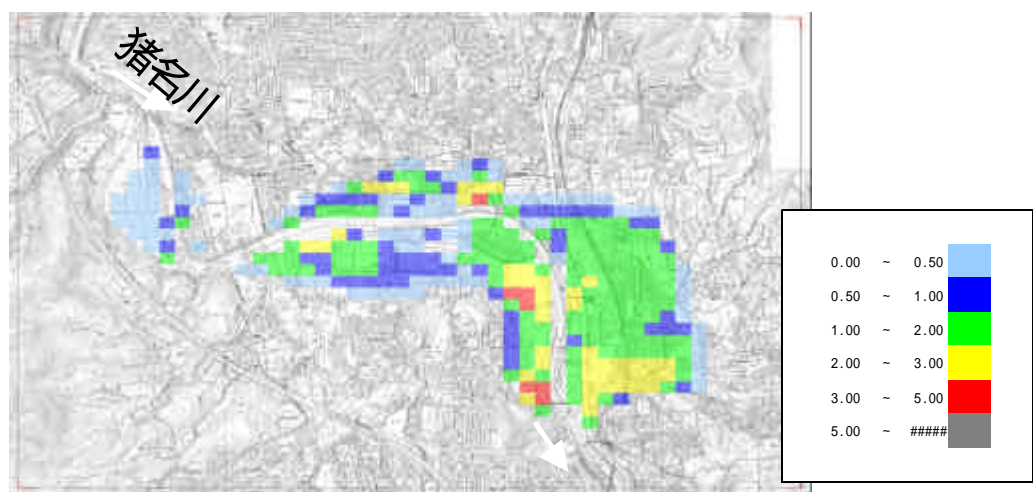


狭窄部上流空中写真



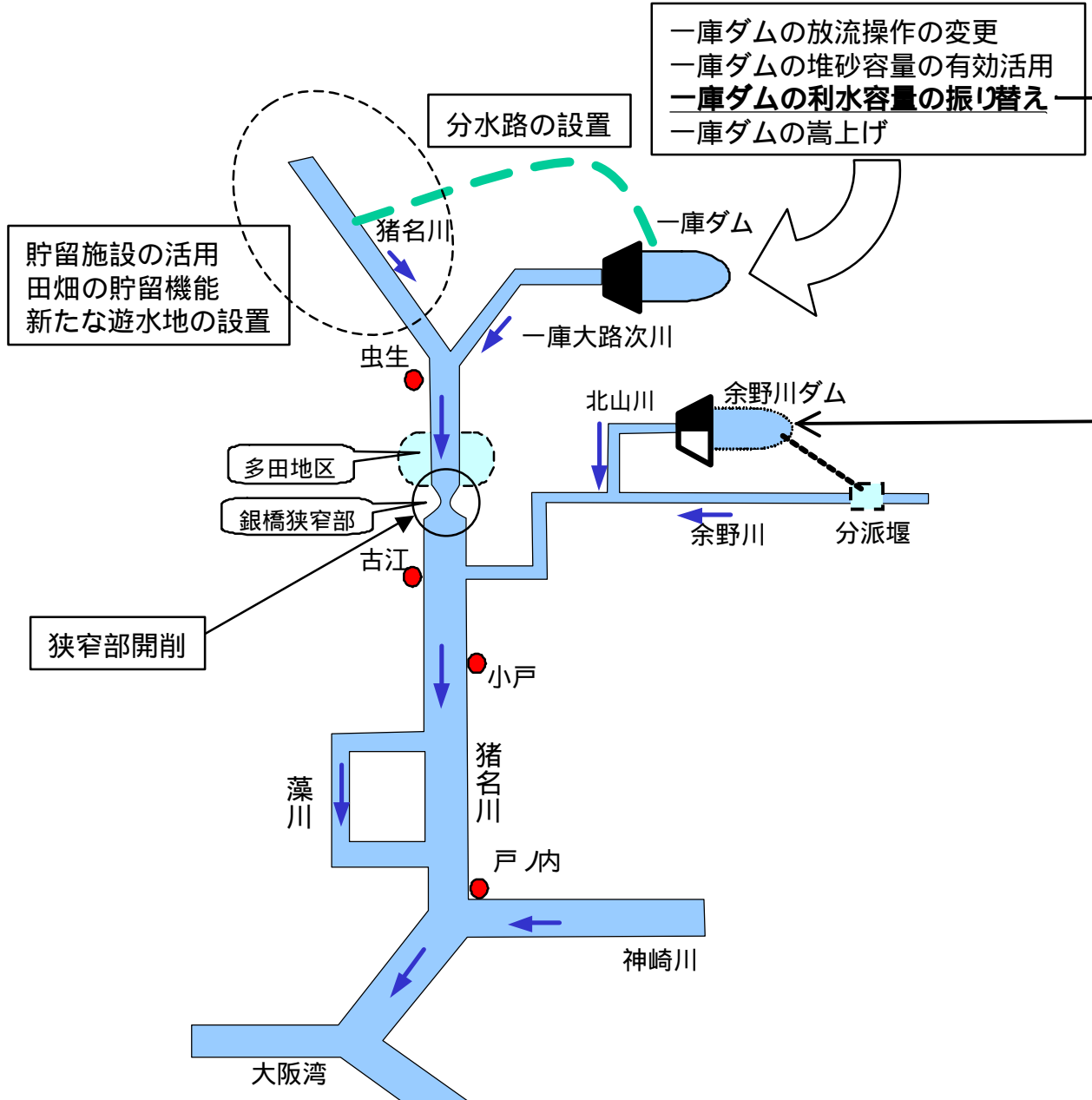
多田地区浸水被害状況

現在の土地利用状況で昭和 35年 8月洪水に対して氾濫シミュレーションを行うと 氾濫被害は以下の通りとなる。



- ・被害額 630億円
- ・床上浸水家屋数 1,140戸
- ・床下浸水家屋数 290戸

狭窄部上流の浸水被害軽減対策概念図



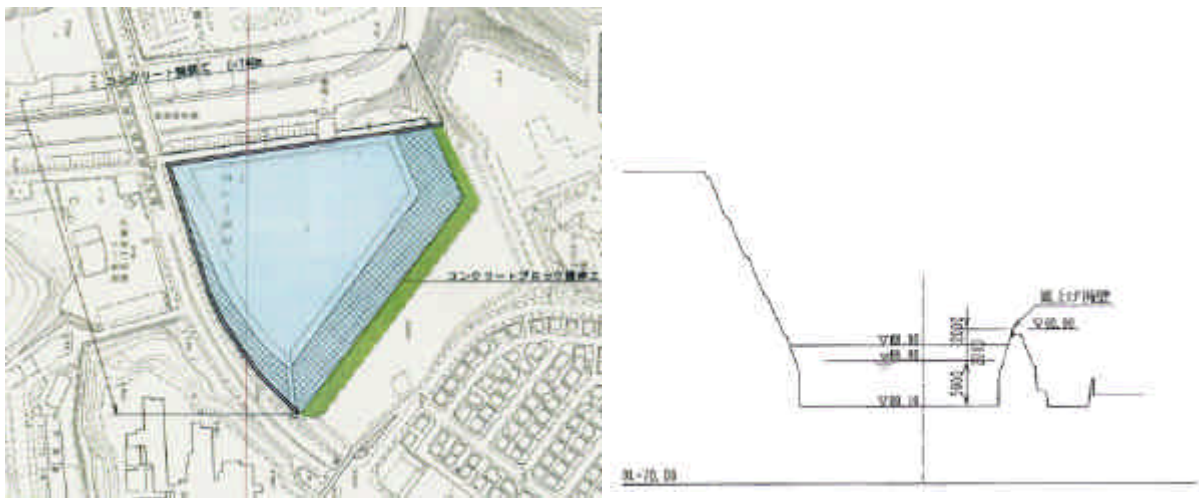
今後の調査検討内容 (貯留施設の活用)

1.現状の課題及び検討方針

- ・狭窄部上流域の多田地区において近年も浸水被害が度々発生している。
- ・狭窄部上流の浸水被害軽減を図るため、現在猪名川上流域に整備されている調節池において嵩上げなどを行う。

2.検討内容

- ・既設調節池で地形的に容量増加が可能な箇所を検討する。
- ・調節池構造変更による周辺自然環境への影響等について検討する。
- ・選定した調節池について、事業実施者、実施工程、事業費、施工方法および効果等を検討する。



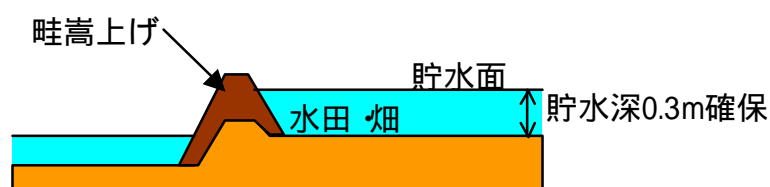
今後の調査検討内容 (田畑の貯留機能)

1.現状の課題及び検討方針

- ・狭窄部上流域の多田地区において近年も浸水被害が度々発生している。
- ・狭窄部上流多田地区の浸水被害軽減のため、猪名川支川沿川の水田の畦を嵩上げすることで貯留効果を期待する。

2.検討内容

- ・構造上、地形上実施可能な箇所を検討する。
- ・水田の利用による周辺自然環境への影響等について検討する。
- ・選定した箇所について、事業実施者、効果、事業費、施工方法等を検討する。



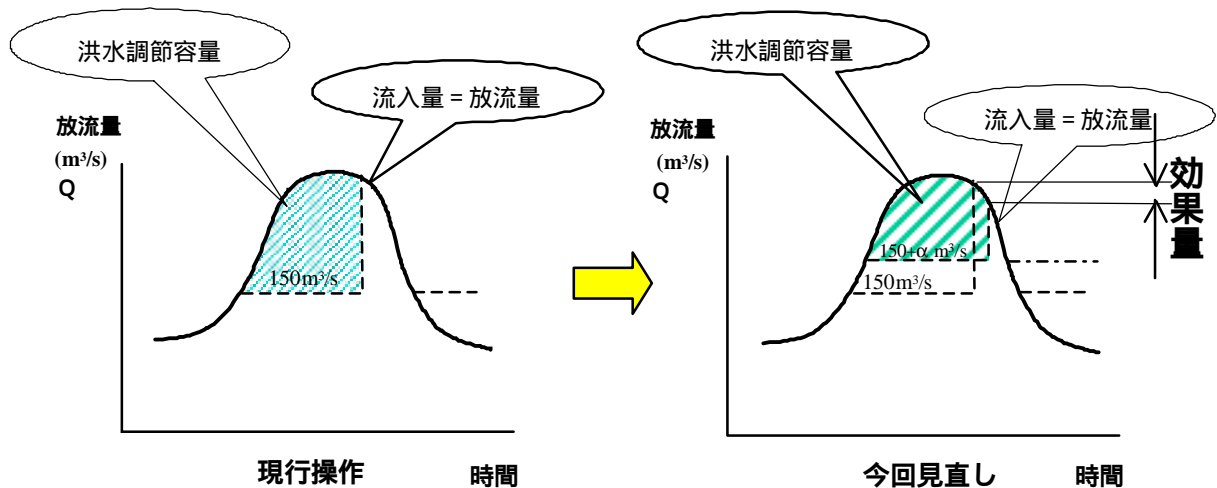
今後の調査検討内容 (一庫ダムの放流操作の変更)

1.現状の課題及び検討方針

- ・狭窄部上流域の多田地区において近年も浸水被害が度々発生している。
- ・狭窄部上流多田地区の浸水被害軽減のため、既設一庫ダムの放流操作を変更することで貯水池を有効活用する。

2.検討内容

- ・下流河道や一庫ダムの容量等について、放流操作を変更するための条件を検討する。
- ・他の狭窄部対策との組合せにより最適な放流操作を、代表4洪水について検討する。



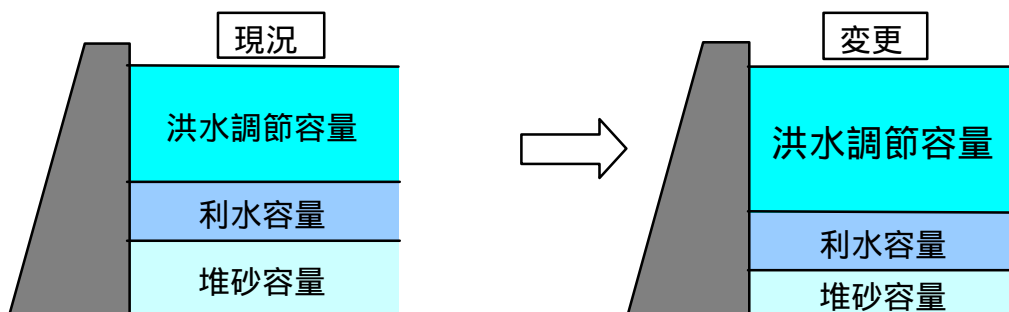
今後の調査検討内容 (一庫ダムの堆砂容量の有効活用)

1.現状の課題及び検討方針

- ・狭窄部上流域の多田地区において近年も浸水被害が度々発生している。
- ・狭窄部上流多田地区の浸水被害軽減のため、堆砂容量の有効活用を行い、既設一庫ダムの洪水調節機能の増大を図る。

2.検討内容

- ・一庫ダムの施設の改造及び上流からの土砂供給量を考慮した振り替え可能量を検討する。
- ・振り替え方法について自然環境、社会環境、維持管理及び経済性を比較検討する。
- ・猪名川の土砂環境を考えた土砂の運搬・処理方法を検討する。
- ・実施工程、事業費、施工方法、効果等を検討する。



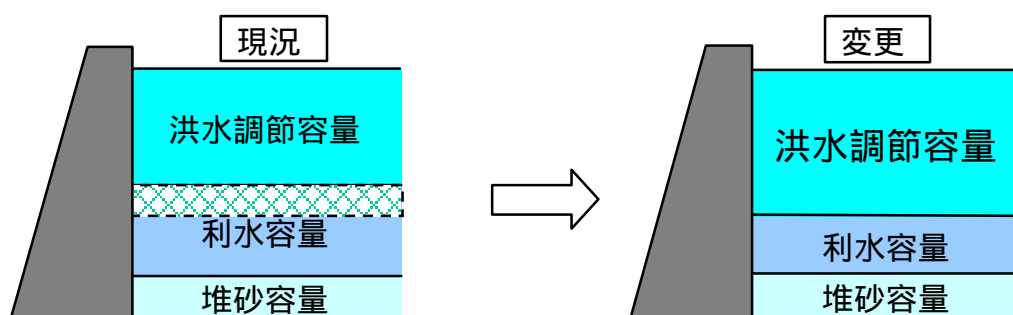
今後の調査検討内容（一庫ダムの利水容量の振り替え）

1.現状の課題及び検討方針

- ・狭窄部上流域の多田地区において近年も浸水被害が度々発生している。
- ・狭窄部上流多田地区の浸水被害軽減のため、容量の再編成を行い、既設一庫ダムの洪水調節機能の増大を図る。

2.検討内容

- ・余野川ダム以外の施設（大阪府営水道、地下水等）による振り替えの可能性を検討する。
- ・余野川ダムで振り替える場合の振り替え可能量を検討する。
- ・振り替え容量の運用、管理方法を検討する。
- ・実施工程、効果、事業費および施工方法等について検討する。



今後の調査検討内容（分水路の設置）

1.現状の課題及び検討方針

- ・狭窄部上流域の多田地区において近年も浸水被害が度々発生している。
- ・狭窄部上流多田地区の浸水被害軽減のため、分水路により 猪名川本川から一庫ダム貯水池へ本川流量の一部を導水する。

2.検討内容

- ・一庫ダムの操作、機能UPを考慮した最適な分水路計画を検討する。
- ・分水路の配置計画、施設設計を検討する。
- ・実施工程、事業費、施工方法および効果等を検討する。



今後の調査検討内容 (新たな遊水地の設置)

1.現状の課題及び検討方針

- ・狭窄部上流域の多田地区において近年も浸水被害が度々発生している。
- ・狭窄部上流多田地区の浸水被害軽減のため、従来より浸水域であった箇所に対し囲い堤を設けるなど貯留機能を確保する。

2.検討内容

- ・構造上、地形上実施可能な箇所を検討する。
- ・遊水地設置による周辺自然環境への影響等について検討する。
- ・選定した遊水地について、事業実施者、効果、事業費、施工方法等を検討する。



今後の調査検討内容 (狭窄部の開削)

1.現状の課題及び検討方針

- ・狭窄部上流域の多田地区において近年も浸水被害が度々発生している。
- ・狭窄部上流多田地区の浸水被害軽減のため、狭窄部を開削する。
- ・狭窄部を開削は、下流の堤防強化の工法や安全基準が「淀川堤防強化検討委員会」で決定され、かつ、河床掘削の検討を踏まえて整備計画に位置付けるかの評価を実施する。

2.検討内容

- ・堤防強化の工法や安全基準について、「淀川堤防強化検討委員会」で検討する。
- ・河床掘削の実施内容等について検討する。
- ・狭窄部を開削した場合の効果、事業費および下流への影響について検討する。

狭窄部



銀橋より下流側を撮影

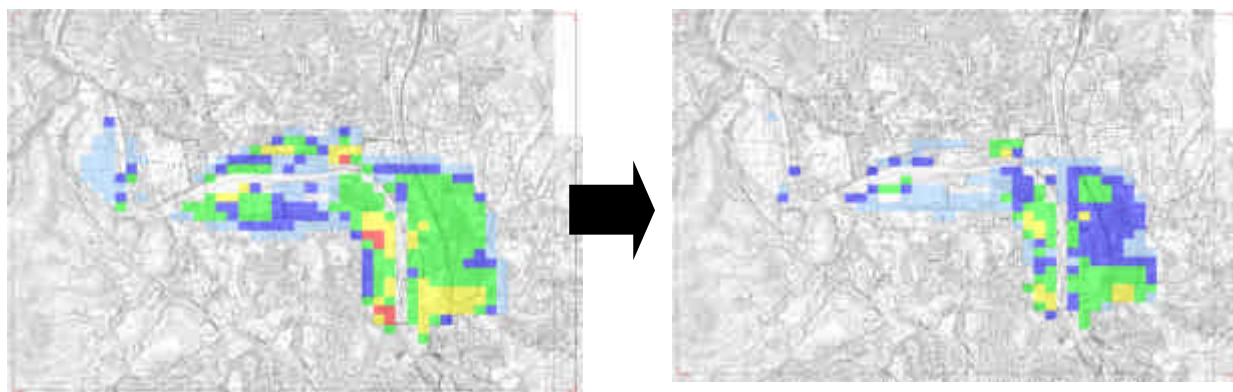
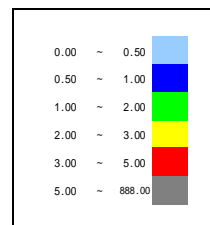
余野川ダムの効果(狭窄部上流多田地区浸水被害の軽減)

平成15年5月16日委員会説明時点において、以下の上流対策が有効であることを説明した。

- ・既設貯留施設の活用
- ・一庫ダム放流操作変更
- ・一庫ダム堆砂容量の有効活用
- ・一庫ダム利水容量の振り替え
- ・新たな遊水地の設置
- ・氾濫原対策(ソフト対策)

上記5つの対策を実施すると、多田地区の浸水被害は次ようになる。

被害額	：	約630億円	約290億円
浸水戸数	：	床上浸水家屋数 1,140戸	760戸
		床下浸水家屋数 290戸	220戸



ただし、上記5つの対策を全て実施しても、既往最大規模の洪水に対する多田地区の浸水被害は解消できない。

このため、今後は以下に示す対策案について前述の検討(シート4/8~4/7)を実施し、多田地区の浸水被害を更に軽減するために調査検討を行う。

- ・既存貯留施設の活用
- ・田畑の貯留機能
- ・一庫ダムの放流操作の変更
- ・一庫ダムの堆砂容量の有効活用
- ・一庫ダムの利水容量の振り替え
- ・分水路の設置
- ・新たな遊水地の設置
- ・狭窄部の開削